

C 協働学習（C2） 主な学習活動

班の探究テーマについて、インターネット等を活用して調査し、タブレットや電子黒板を用いて情報共有を行う。

1 本時のねらい

現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知らることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

Google Jamboard

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

学校図書館の状況によっては、班別の探究を行うための資料が足りない場合もあり得る。その際、インターネットを活用して検索することは、調べる速さ、情報量の豊富さで有効である。今回の学習では、図書、インターネットを選択して調べられるようにする。

また、Google Jamboardで調べた内容を共有することで、生徒は調べ学習の分担や可視化、整理が容易にできる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	<p>調べたいテーマについて班ごとに探究を行う。</p> <p>調べて分かったことはGoogle Jamboardを活用して集約する。</p>	<p>教師がテーマについて有効なサイトなどをあらかじめ調べておくことで、生徒が自分の学習状況に合わせてタブレットから調べられるようにする。</p> <p>付箋の色を分ける機能や、シートに直接書き込める機能を活用し、各班のシートをモニターに映すことで、自分以外のグループの考えや、課題の読み取りについて情報を共有しやすくする。</p>

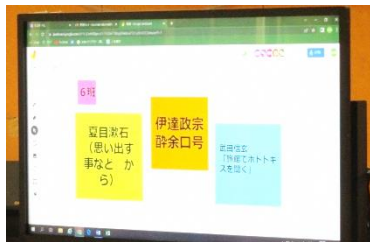
タブレット

+

電子黒板



平家物語の原文、見つけた！



ほかのグループの進め方を確認することができる。

**4 活用効果**

生徒は、タブレットや図書資料を用いて調べ学習を行い、少ない時間で古典の世界の文化や価値観に多く触れる事ができた。その中で、表示しているページをスクリーンショットとして保存したり、文章をコピーしてGoogle Jamboardの付箋に貼り付けたりしながら、古典から分かるものの見方や考え方について情報を整理することができた。

また、ほかのグループの進捗状況や電子黒板を用いたり、タブレット内で見合ったりして共有した後の調べ学習は、それぞれのグループにおいて共有した内容を踏まえて工夫する姿が見られた。

5 アドバイザーからのコメント

生徒たちは「平家物語の原文を見つけた」などのように、多くの情報にアクセスすることで価値を見出すことができます。ただし、アクセスしただけでは、データに触れただけで、どのようにまとめるのか、どのように表現するのかによって、その理解の深さが異なります。（東京工業大学 赤堀侃司）

探究においては、クラスで時間と空間を共有して学ぶ価値を考え、どのようなゴールを目指して学びを進めるかによって期待される事項が変化しそうです。情報共有に際しては、生徒が必要に応じて思考ツールを選択できるような場面を持つとメタ的視点で効果が期待できそうです。（福島大学 平中宏典）